

ウイルス・幹細胞システム医生物学共同研究拠点

京都大学医生物学研究所

第20回 公開講演会

生命のふしぎと 健康の科学

入場無料
定員500名
(先着順)

健康で長く生きるためには、私たちの体の仕組みを科学的に理解することが大切です。

本公開講演会では、生命科学の研究から見てきた「体のしくみ」や「健康長寿の手がかり」を紹介します。最先端の研究を通して、生命の不思議や科学の面白さに触れていただける機会です。

2020
7.4 土 14:00
16:10
(13:30 開場)

会場 京都大学百周年時計台記念館1階
百周年記念ホール

ご来場の際は公共交通機関をご利用ください。
<http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/clocktower/>



14:05-15:05

中台(鹿毛) 枝里子
(医生物学研究所 教授)

Eriko Kage-Nakada



「小さな虫に学ぶ健康長寿
のtips」

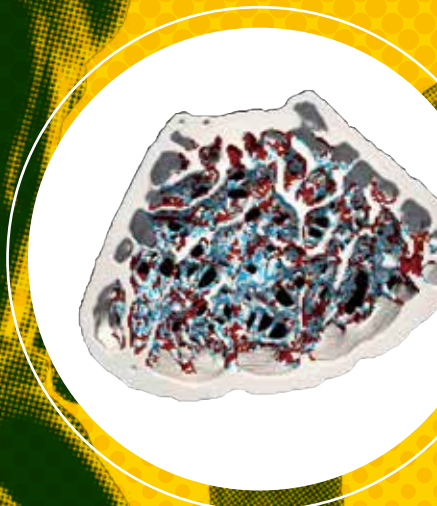
15:10-16:10

安達 泰治
(医生物学研究所 教授)

Taiji Anchi



「骨は運動を感じている?
骨のふしぎ」



お問い合わせ先



京都大学医生物学研究所総務掛

〒606-8507 京都市左京区聖護院川原町53 TEL:075-751-3802

✉ 330seminar@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp <https://www.infront.kyoto-u.ac.jp/>



京都大学

第20回公開講演会 生命のふしぎと健康の科学

2026 7.4[±] 14:00→16:10 (13:30 開場)

会場 京都大学百周年時計台記念館1階 百周年記念ホール

入場無料
定員500名
(先着順)

Program 司会 遊佐 宏介 (医生物学研究所 教授)

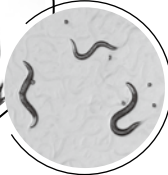
14:00-14:05 開会挨拶 朝長 啓造 (医生物学研究所長)

14:05-15:05 中台(鹿毛) 枝里子 (医生物学研究所 教授)

小さな虫に学ぶ健康長寿のtips

超高齢社会を迎えた我が国では、抗老化のための標的や手法開発が求められています。私たちは健康長寿実現の手がかりを得るために、モデル生物である線虫 *C. elegans* を用いた研究を行ってきました。今回は、その歴史と最新の研究からわかってきたことをご紹介します。

Eriko Kage-Nakada

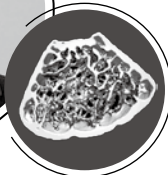


15:10-16:10 安達 泰治 (医生物学研究所 教授)

骨は運動を感じている？ 骨のふしぎ

歩く、走る — 体の動きは骨にも影響を与えています。骨は単なる硬い物ではなく、体にかかる力に応答しながら常に作り替えられる生きた組織です。骨の中の細胞はその力を感じ、骨の形や強さを調整しています。健康維持に重要な運動と骨の関係にひそむ不思議な仕組みを、最新の研究を交えて紹介します。

Taiji Adachi

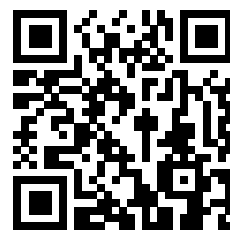


お申込み方法

事前申込制・申込先着順

参加ご希望の方は、右記のQRコードからお申し込みください。

<https://forms.gle/C4pYxAVCfL69FQ699>



申込締切：2026 7. 2(木)

※参加者の皆様の情報を適切に保護し、本講演会の開催・受付目的以外には使用いたしません。